

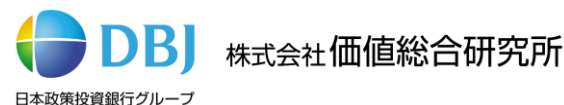
出典：「地域経済循環分析」（環境省、株式会社価値総合研究所）

京丹後市の地域経済循環分析

【2022年版】

Ver9.1

2026年9月8日



2 - 1. 売上（生産額）の分析

(1) 地域の中で規模の大きい産業は何か①：産業別生産額

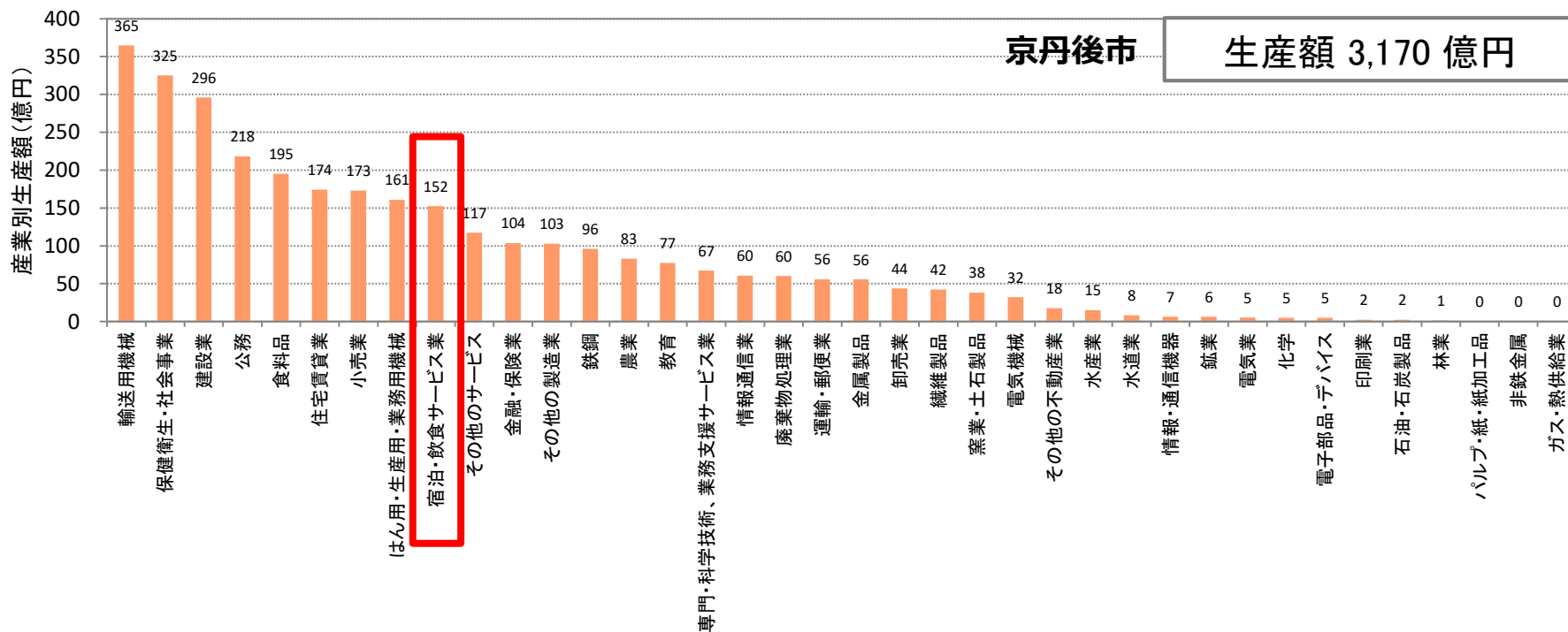
分析の視点

- 地域の中で、生産額（売上額）が大きい産業は、生産した財・サービスを地域の内外へ販売して、所得を獲得しており、地域の代表的かつ地域の強みとなっている産業である。
- ここではまず、産業別生産額（売上額）より、地域の中で規模の大きい産業が何かを把握し(下図)、地域の代表的な産業を把握する。

→分析例は「手引き基本編」のP20～21を参照

生産額が最も大きい産業は輸送用機械で365億円であり、次いで保健衛生・社会事業、建設業、公務の生産額が大きい。

産業別生産額



出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」等より作成

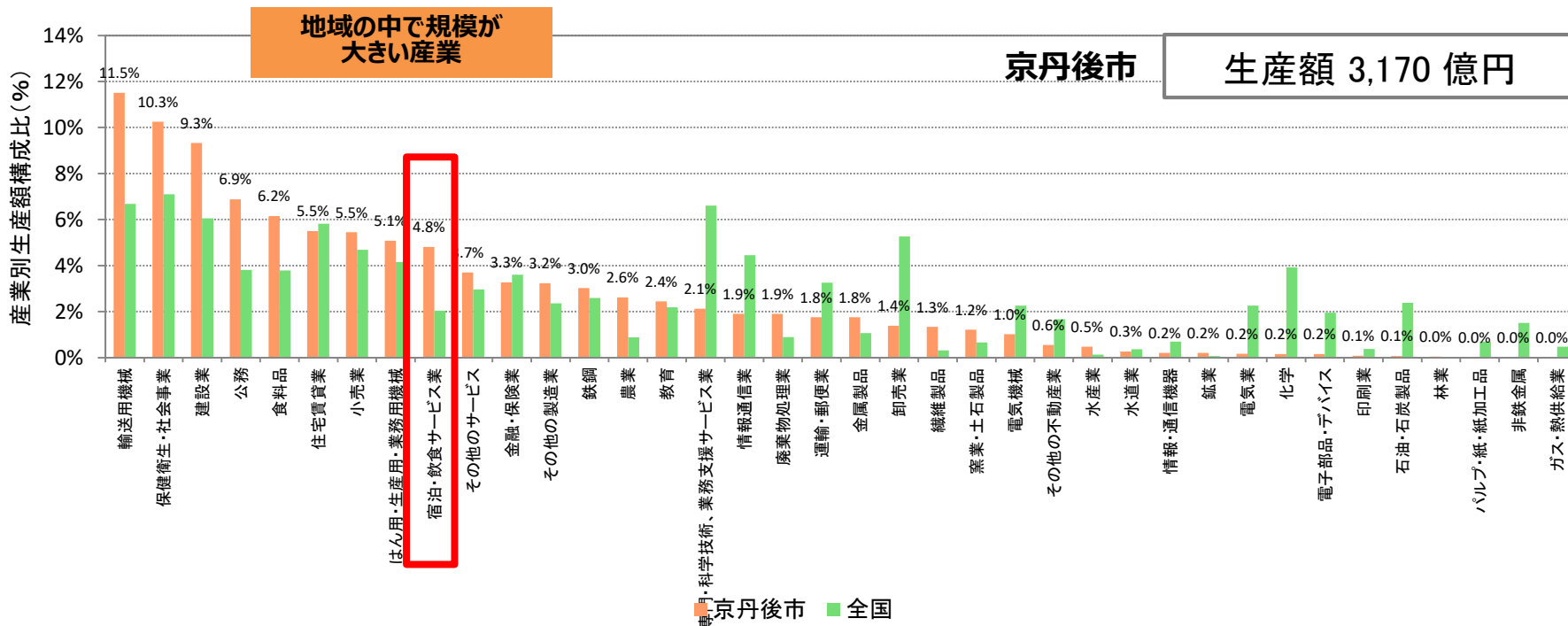
(1) 地域の中で規模の大きい産業は何か②：産業別生産額構成比

分析の視点

- ここでは、地域の産業別の生産額（売上）の構成比（シェア）を全国生産額のシェアと比較することで、地域の生産額で見た産業構造を把握する（どの産業がシェアが高く、どの産業がシェアが低いか）。
- 地域の生産額シェアが、全国生産額シェアよりも高い産業は、地域において生産・販売のしやすい状況であり、この産業を中心とした経済構造を形成することも重要である。
→分析例は「手引き基本編」のP20～21を参照

生産額が最も大きい産業は輸送用機械であり、次いで保健衛生・社会事業、建設業、公務が「稼ぐ力」の大きなウェイトを占めている。

産業別生産額構成比



出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」等より作成

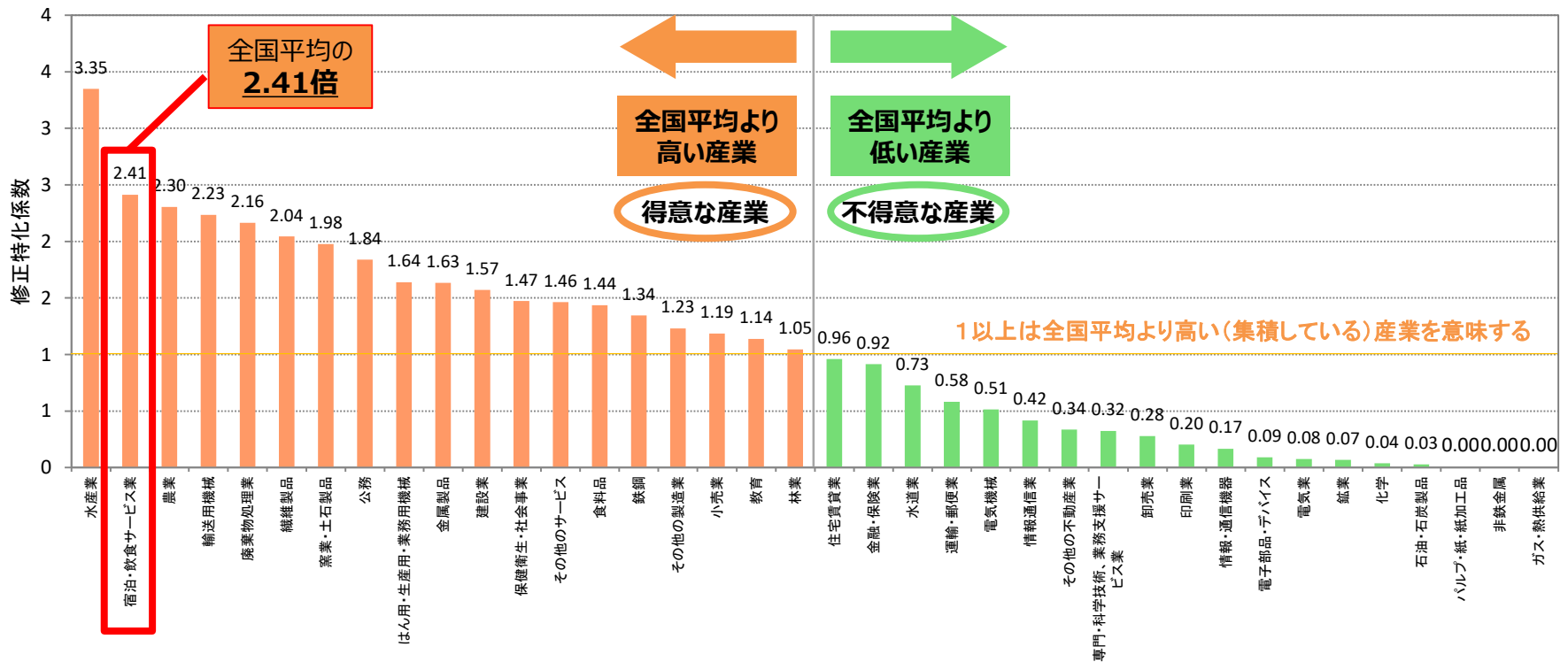
(2) 地域の中で得意な産業は何か：産業別修正特化係数

分析の視点

- 地域の中で、修正特化係数が高い産業が地域で得意な産業であり、比較優位な産業である（下図）。修正特化係数は地域の産業別の生産額のシェアと全国の産業別の生産額のシェアを比較し、貿易を考慮した係数である。
- 修正特化係数が高い産業は、地域において、全国平均と比較して生産・販売のし易い状況であり、各地域が、この得意な産業を生かして、地域の特徴を生かして、地域産業構造を構築していくのが重要である。
→分析例は「手引き基本編」のP22を参照

全国と比較して得意としている産業は、水産業、宿泊・飲食サービス業、農業、輸送用機械、廃棄物処理業、繊維製品等である。

産業別修正特化係数（生産額ベース）



出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」等より作成

(3) 域外から所得を獲得している産業は何か：産業別純移輸出額

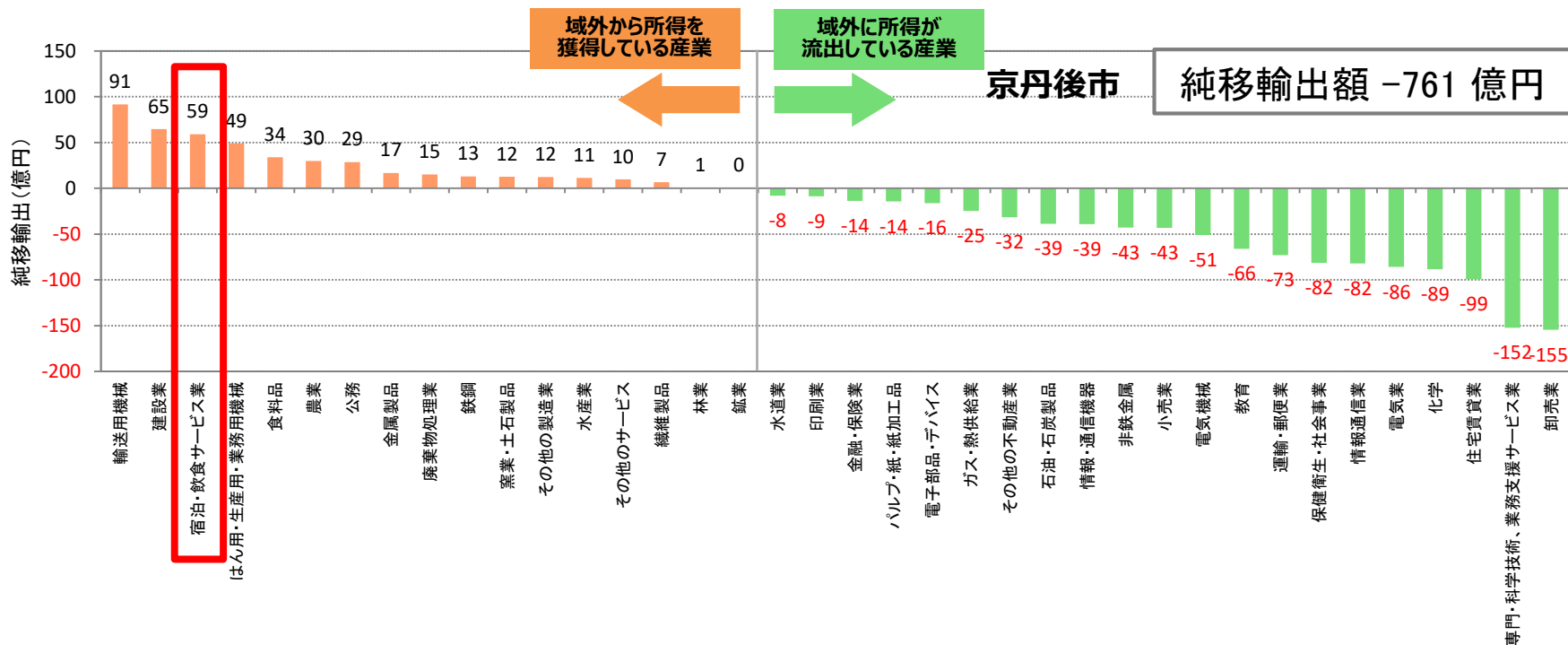
分析の視点

- 地域の各産業の中で、地域外に財・サービスを販売し、所得をどの程度獲得しているかを把握する（下図）。各産業では地域外に販売（移出）する場合と地域外から購入（移入）する場合があります、その合計値（ネット）としての純移輸出額を示している。
- この純移輸出額がプラスとなっている産業は、モノやサービスの販売（移出）が購入（移入）よりも多く、域外への支払い額よりも域外からの受取り額の方が多く、域外から所得を獲得できる強みのある産業である。

→分析例は「手引き基本編」のP23を参照

域外から所得を獲得している産業は輸送用機械、建設業、宿泊・飲食サービス業、はん用・生産用・業務用機械、食料品、農業等である。これらは、域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。

産業別純移輸出額



出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」等より作成

2 - 2. 付加価値の分析

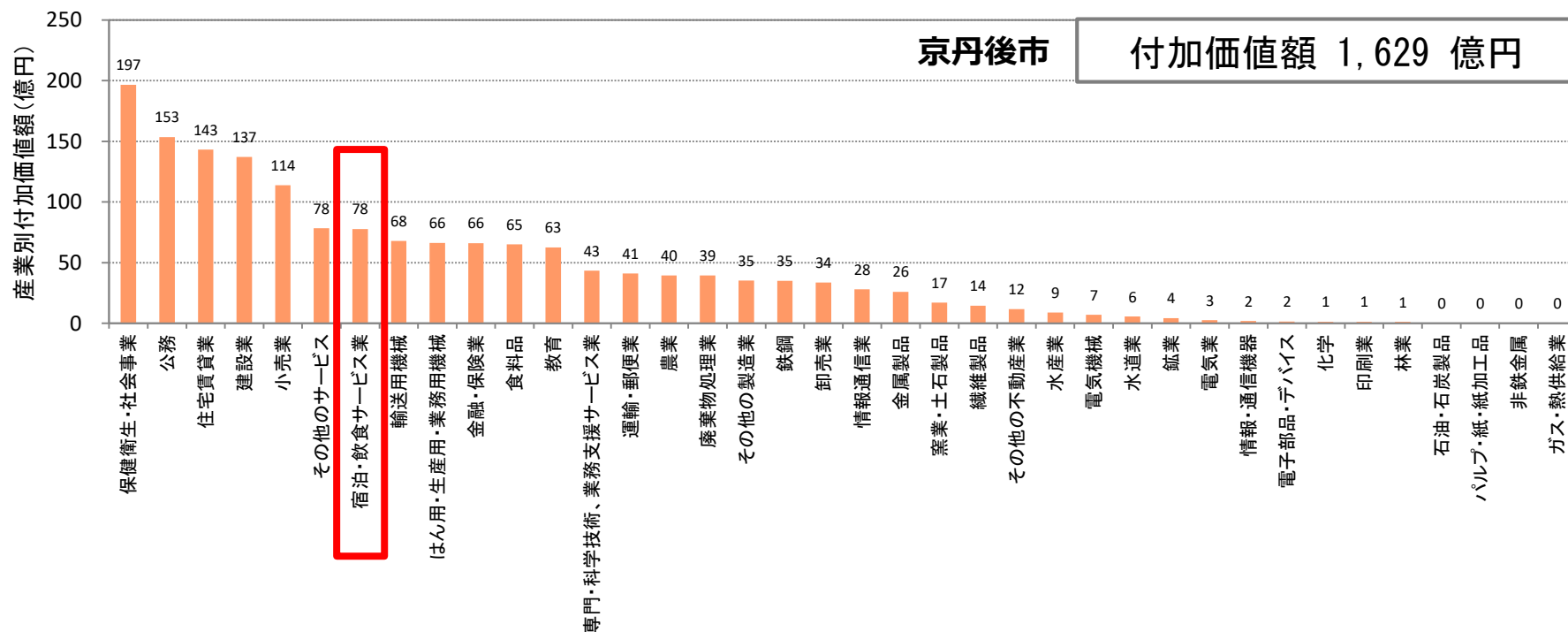
(1) 地域で所得(付加価値)を稼いでいる産業は何か①：産業別付加価値額

分析の視点

- 下図の付加価値額（≒GDP）は、売上額（生産額）から外注費等の中間投入を除いた額であり、地域住民の所得として計上される金額である。全ての市区町村の全ての産業の付加価値を合計すると、我が国のGDPになる。
- ここではまず、産業別付加価値額より、地域の中で所得を稼いでいる産業が何かを把握する(下図)。
→分析例は「手引き基本編」のP24～25を参照

付加価値額が最も大きい産業は保健衛生・社会事業で197億円であり、次いで公務、住宅賃貸業、建設業の付加価値額が大きい。

産業別付加価値額



出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「経済構造実態調査」等より作成

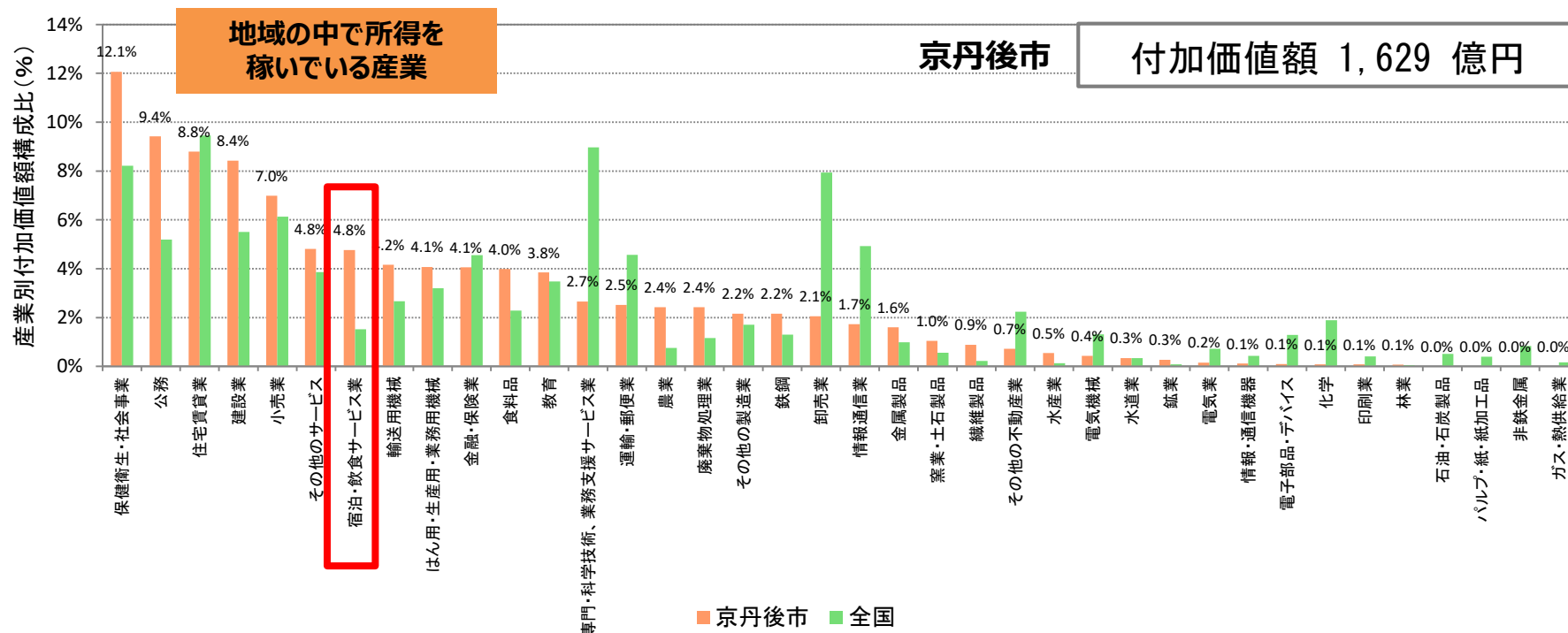
(1) 地域で所得(付加価値)を稼いでいる産業は何か②：産業別付加価値構成比

分析の視点

- ここでは、産業別の生産額のシェアと同様に、産業別の付加価値のシェアを全国平均の産業別の付加価値のシェアと比較する。
- 地域の付加価値のシェアが全国の付加価値のシェアよりも高い産業が付加価値でみた場合の得意な産業であり、比較優位な産業である。そして、これらの産業は地域において生産・販売をしやすい産業である。
→分析例は「手引き基本編」のP24～25を参照

付加価値を最も生み出しているのは保健衛生・社会事業であり、次いで公務、住宅賃貸業、建設業である。

産業別付加価値額構成比



出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「経済構造実態調査」等より作成